

- タウン情報 -

きくがわ

Vol. 181

2022 Autumn



■ 令和4年度菊川まつり代替事業開催について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度も菊川まつりの代替事業を実施することといたしました。内容は現在検討中ですが、11月20日(日)の開催を目指して準備を続けてまいります。お楽しみに！

〈 菊川夢プラン 〉 公式 SNS

住みよい菊川をつくる会 夢プラン部会 の活動を発信しています。フォローをお願いします!!



▲ LINE



▲ フェイスブック



▲ インスタグラム



▲ ツイッター

住みよい菊川をつくる会 次回発行は令和5年1月です。

タウン情報 きくがわ (181号) 2022年10月1日発行

発行 / 住みよい菊川をつくる会 問合せ / 菊川市民センター 〒746-0082 山口県周南市大字下上2146
☎ 0834-62-2801 ✉ kiku-ko@city.shunan.lg.jp

市長懇談会について

8月10日(水)に菊川市民センターで「市長と語るまちづくり懇談会」が行われ、住みよい菊川をつくる会の役員、賛助団体代表等 22人が出席し、「地域で語るまちづくり」をテーマに藤井律子市長と語り合いました。

前半は、主に、住菊会の活動や各地区で抱える課題などを市長にお聞きいただきました。後半は、大雨や台風接近時の避難場所や避難所開設情報などについて、市長と意見交換しました。

菊川地区は山に囲まれ、富田川も流れていることから、ハザードマップや市広報などを確認し、平時から洪水や土砂災害などへの備えをしておくことが大事です。

また、「しゅうなんメール」にアドレスを登録しておく、市からの情報が配信されます。7月からは、テレビの4チャンネル又は5チャンネルのデータ放送(dボタン)で市政情報をご覧いただける新サービスも始まっています。防災関連の最新情報のほか、感染症対策やイベント情報などもチェックできますので、利用してみたいでしょうか。



数字で見る菊川 (8月末の人口等) 世帯 3,337 世帯 /

人口 7,836 人 / 男 3,833 人 / 女 4,003 人

周南フリーWi-Fi サービスが 市民センターに！

7月より、周南市内の各市民センターにて、市民向け無料 Wi-Fi サービスがスタートしました。菊川地区内でも、菊川・四熊・小畑市民センターにて無料で Wi-Fi が使用できます。1日2回(1回120分)まで使用できます。

- 使用可能な部屋 -

- 菊川市民センター - 1階 会議室
- 四熊市民センター - 1階 研修室
- 小畑市民センター - 1階 会議室 講座室 調理室

周南市公衆Wi-Fiサービス

Shunan Free Wi-Fi



パスワード:shu12345678

1日2回 1回120分まで

メールアドレスもしくはSNS認証必要

住みよい菊川をつくる会 パソコン設置

地域の皆さまが何かお調べしたいことがある際に、当会が昨年度購入したノートパソコンを活用していただけます(時間制限あり)。

ノートパソコンは菊川市民センターの事務室に設置しております。ご利用を希望される場合は、事前に菊川市民センター(62-2801)に空き状況等をご確認いただきますようお願いいたします。
※ インターネットウイルス対策のため、地域の皆さまの USB メモリの挿入は禁止させていただきます。

菊川地区母子保健推進員

木村 明美 様
蔵重 純恵 様

今回は、菊川地区の母子保健推進員のお二人にインタビューしました。
―母推さんはどのようなことをしていますか？
お母さんや妊婦さんの相談ごとを聞くのが一番の役割です。相談内容によっては保健師さんとのパイプ役になることもあります。地域での子育てサークル「ゆりかご」の運営もしており、主に季節の行事や親子遊び、おもちゃ作りなどを行っています。他にも3歳時健診（）



のサポートなど幅広く活動しています。昨年度から、1歳前後の子に対し歯ブラシを配り、虫歯予防の啓発活動をしています。―どのような思いで活動していますか？
コロナ禍によるお母さんのストレスが心配です。SOSを発することができないお母さんがいて、やきもきすることもありますが、地域に対する恩返しと思って活動しています。大変なこともあるけれど、赤ちゃんは可愛いし、地域のことも分かるし、とてもやりがいがあります。私たちと一緒に活動しませんか？まずは菊川市民センター（62-2801）までご連絡ください。―ありがとうございました。

【母子保健推進員 名簿】

井上 薫子	上野・岡上野・内谷・横矢・新横矢
岡田 裕子	見明・上土井
尾崎 尚子	東武井
木村 明美	加見地区・四熊地区・小畑地区
	西武井
蔵重 純恵	向土井・土井
瀧本美智子	徳善・岩屋
徳永 純子	蔵掛・西蔵掛

※ 担当者が訪問困難などの場合は、市の担当保健師さんに対応してもらえます。

見守り活動等について表彰！

「加見地区自主防災・防犯協議会」と「しもかみ見守り隊」の、日頃の見守り活動や防犯活動が表彰されました！いつもありがとうございます！！



菊川 深訪

第50回 加見の地名由来

現在の下上地域の「旧富岡村」は、明治の町村合併で、富田の岡（上流）として、地名由来が分かっている。江戸時代の「上村」の地名由来ははっきりしないが、富田川流域の上流にあると推定できる。または、長州藩の絵地図では漁業の村を「浦」として、海岸より奥にある農業地帯を「上ケ（あげ）」と記載しているので、関連があるだろう。「別所」は、富田の「政所」との関連があり、古くから知られていた。また、戦国時代に毛利氏により破壊された「満願寺」や、陶氏の館跡（富岡公園）に対して、鬼門に当たる「日吉神社」も、別所城跡の麓にある。この日吉神社の大イチョウは過去に紹介したが、神社を守る狛犬も大変可愛い。

上村の地名由来は推定であるが、「旧加見村」の由来は、加見小学校の歴史に記載がある。この地域の中世は、陶氏の「富田保」に含まれていたが、徳山藩の成立時期により川上・中野村は萩本藩領となり、上村・川曲が徳山藩領になった。しかし、元文・延享（一七三六から一七四七年）に、上村が上村と上々村に分れた（理由は書かれてないが、治水工事など新田が開発

されたのであろう）。この「上村」が、現在の下上地域であり、「上々村」が、現在の加見地域である。このことは、「上」の意味が、富田川の流れを意識して、上村の「上」にあたる地域（現在の加見地区）と、上村の「下」にあたる地域を、その後下上地域にしたと考えられる。

そして、明治後の町村制の実施にあたり（明治二十二年一八八九年）、上村、川曲、川上、中野の四ヶ村が合併することになり、「新村名」を決めることになった。最近でも、「周南市」に決まるまでは、相当な議論があった様に、「新村名」も最初は、四ヶ村の名前の一字を集めて「上川野村」の案があったが、基幹の村としての上村を代表すると案が決まった。しかし、従来の上村と紛らわしいので、上村の読み（かみ）をとり、新村名を「加見村」とした。



日吉神社の狛犬（別所）

令和4年度 ハタチの集い開催

住みよい菊川をつくる会 夢プラン部会 が8月13日（土）に菊川小学校で、令和3年度に20歳を迎えた菊川出身者に向けた「ハタチの集い」を開催しました。

菊川での思い出を振り返られる「手作りビデオ」と、市販の花火を組み合わせた「仕掛け花火」を準備し、当日の運営のため SNS を用いて地域の方々からボランティアスタッフを募集。ボランティアスタッフには、現菊川中学生・小学生が15名も参加し、他スタッフや夢プラン部会メンバーと一緒に、令和3年度に20歳を迎えた菊川出身者9名をお祝いしました。

